

日本心エコー学会教育委員会
地方における小規模講習会に関する報告

2017/07/13

教育委員会では、若手医師・技師への心エコー図学の普及・啓蒙に努めるため、函館市で研修医向けの心エコーハンズオンセミナーを開催したので報告する。

1) 概略は以下の通り

講習会名： 「第 17 回 HGCU 主催研修医向け心エコーハンズオンセミナー

企画・主催： 北海道心血管エコー研究会（HGCU）

後援： 日本心エコー学会

事務担当： 国立病院機構函館病院

日時： 2017 年 7 月 8 日(土) 14：00～18：00

会場： 国立病院機構函館病院 1 階 臨床研究部 視聴覚情報室、IT 室、心エコー室

対象： 初期研修医、後期研修医、臨床検査技師

参加者数： 27 名（定員 25 名に対し 28 名の応募あり、当日 1 名欠席）

参加者内訳： 初期研修医 1 年目 10 名、同 2 年目 9 名、後期研修医 3 名
臨床検査技師 5 名

内容： 初心者を対象とした心エコー図法の講義とハンズオン

エコー装置： 6 台（うち 5 台を下記エコーメーカー 3 社のご厚意により無料貸し出し）

装置貸与協力： 東芝メディカルシステムズ株式会社

株式会社フィリップス エレクトロニクス ジャパン

G Eヘルスケア・ジャパン株式会社

被験者： 健常者 6 名

2) 収支について

本講習会は、収入を参加者からの受講料のみとした独立採算制をとった。

一部講師の交通宿泊費は北海道心血管エコー研究会本会計より補填された。

3) プログラム

参加者を 6 グループに分け、1 グループ 4~5 人体勢とした。前半は断層法と M モード法、および探触子の操作方法についての講義およびハンズオン、後半はドプラ法と下大静脈観察についての講義およびハンズオンとした。ハンズオンは各々 75 分とり、受講者が実際に操作する時間を十分にとれるよう配慮した。

4) 指導者について

講義は日本超音波医学会専門医・指導医が2名、ハンズオンは同2名および教育委員会から1名、日本超音波医学会認定専門技師3名が担当した。

5) アンケートについて

アンケート調査は行っていない。しかし受講者からの意見・質問を促しており、受け付け先としてハンズオン担当事務局代表のメールアドレスを公開している。

6) まとめ

本会はHGCUが主催し北海道で16回を重ねてきたセミナーである。1年に2回、冬期は札幌で、夏期は地方（旭川、帯広、函館）で定期的に行われ、毎回一定の参加者がある。広い北海道で札幌や本州に出張することなしに研修医が心エコーを学べる機会は貴重であり、この継続は重要である。その意味でも、今回本セミナーの活動が日本心エコー学会の教育委員会の活動の一端として認められ後援していただいたことの意義は大きい。最後に本セミナーにご尽力いただいた日本心エコー学会教育委員会に深く感謝申し上げます。

文責：国立病院機構函館病院 循環器科 小室 薫